

はじめに

四月に入りロチェスターは未だに10°C前後をいったりきたりしているため、まだまだ肌寒いです。今学期も残すところあと3週間となりました。四月中旬の季節の変わり目に体を壊してしまったため、一週間まるごと授業に参加できなかったのがとても残念でした。そうなるとうちでも予習復習に時間を奪われ、四月下旬は本当にあつという間に過ぎ去っていきました。五月に入るとほとんどのクラスでFinalテストがあるので、今はそれに向けてがんばっています。最後の報告書では夏学期、秋学期と春学期に分けてこの留学での総括としてまとめていきたいと思ひます。

夏学期(Summer pre school at ELC)

去年の六月に渡米し、すぐにロチェスター工科大学の中にあるELCで英語の勉強を始めました。初めて生活すべてが英語での生活にとまどいながら朝の9時から4時まで英語の授業を受けました。KITで既にすべてのことを英語で行う授業を体験していましたが、一日中だとどうしても頭が追いつかず、授業終了後の疲労感はずごかったと思ひます。課題の量もなれるまでにとても時間がかかりました。そして授業での友達もすべて多国籍の友達ばかりでイスラムの人たちが多かったため、初めてイスラムの文化を体験する機会が多くとても楽しかったです。それでも授業についていくためにとても苦労しました。そしてなによりアメリカの大学での夏休み中はまったく学生がいなかったためほとんど現地の大学生との交流はありませんでした。それでも初めてのアメリカでの生活や人たちを観察するには十分な時間でした。

秋学期

九月末から学期が始まり、まず生徒数の多さに驚きました。KITとは比べられないくらいに、昼食の時間の時は特に多様多種に囲まれる事に少し違和感がありました。ELCでの授業は相変わらず大変だったと思ひます。勉強意外での活動でRITでは多くの活動を目にしてきました。毎日なにかしらの活動があり規模も大きく、交流の場は多かったと思ひます。中でもスポーツなどはFacebookを通じて知り合いが増えました。私はPick Up サッカーに参加し、みんなが好きな時間に集まってプレーをするようになりました。さらにRITでは運動施設も充実していたため、日本にいるときには全く行っていなかった体を鍛えることを始めながら週3回運動をするようになりました。なによりアメリカでは気さくにすべての人が挨拶をし、ハンドシェイクをし、話すので、すぐに仲良くなります。しかしこの学期ではまだ自分の中で英語の苦手意識は強くなかなか自分からはなしかけることができなかつた機会が多かったと思ひます。

春学期

春学期からはクラスのレベルもあがって大学の授業も受講可能になりました。そのためこの学期はより一層授業への取り組みに時間を使いました。この学期では自分なりに積極的に取り組むようになり多くの友人ができたと思ひます。2月から4月までとても寒い気候が続いたためたびたび体を壊すことがおこったと思ひます。それでも慣れてくると学校生活や友人とのふれあいに活力を見いだすようになりました。今月にもなると、本当に毎日がとても充実していると実感しています。

最後に

アメリカの文化に多くの魅力を感じました。特に2つの気遣い面で感じたのが、すべてのアメリカ人はドアをあけて待っていてくれるのです。少し離れたところにも待っていてくれる所と、誰かがくしゃみをしたときにみんなそろって「Breath You」と声をかけてくれます。たとえ知らない人でも先生でも対等に対応するところには文化の差を感じました。より詳しい詳細は帰国報告会にて報告したいと思ひます。最後にこの機会を与えてくださった国際交流室長札野順教授、指導教員である蜂谷教授、国際交流室の皆様、本当にありがとうございました。

以上で4月分の報告を終わります。